

## 平成25年度前半期活動報告

神戸市立兵庫商業高校

(1) 兵庫商業の先生方へ新商品「はしってんカー」の説明および販売  
本年度も、新商品を先生方一人一人に説明することにしました。今年は3年「商品開発」の受講生徒が少なく、一人で多数の先生を担当し、たいへんでしたが、話を聞いていただくことができました。さらに「はしってんカー」を33個もお買い上げいただき、ありがとうございました。



<生徒の感想>

- ・緊張でたじだじになったり、とっさの質問にパニックったりたいへんだった。でも、だんだん笑顔で伝えることができるようになった。
- ・内容がバラバラだと指摘された。練習して二回目に行った時には、上手だと言われ、うれしかった。商品を売り込むということはとても難しいが、良い経験ができた。
- ・練習していた通りにはいかず、臨機応変に対応する事が難しかった。
- ・今回の体験は就職試験に必ず役に立つと思うし、絶対に生かしたいと思う。
- ・「とても意欲が感じられて買いたくなりました」と言っただけで、うれしくなった。
- ・思っていることを伝えるということは、とても難しいことだとわかった。
- ・しっかりまとめておかないと、相手を納得させるのは難しい。いろいろと考えることができた。



(2) 流通科学大学の大学生と3年「商品開発」の授業で  
いっしょに商品開発することになりました！

就職がすでに内定した4回生の大学生が毎週授業に入っています。高校生がいろいろ提案してくるアイデアや話を、大学生がリーダーシップを発揮し、まとめていくような形で、ただいま進行中です。どんな商品開発や提案が生まれるか、楽しみです。夏休みも自分たちで課題を設定しました。さあ、その成果は？



### (3) 夏休みゆめキット工作教室の開催

★8月12日(月) 鳴尾育成センター

受講児童：「つったろう」7人(小学1年生)

「デコりん」13人(小学2年生)

「グッとポン」17人(小学3年生)

参加生徒：3年「商品開発」6名



今年も、待っていてくれた子どもたちと楽しく工作教室を行いました。暑いけれど、子どもたちは元気です。その元気で高校生を圧倒します。作った後は、遊びだします。次々と遊びを考えだし、高校生を巻き込んで、遊びます。



★8月27日(火) 7公民館合同サマースクール(本校会議室)

受講児童：「はしってんカー」24人

参加生徒・学生：3年「商品開発」9名、流通科学大学生10名

今年はなんと150名を超える応募があったそうです。その中から抽選で選ばれた子どもたちと保護者が来校され、開催されました。本校の生徒のほか、流通科学大学からもボランティアとして2・3回生の大学生が参加してくれました。大学生も「はしってんカー」を初めて作ります。子どもたちと、どう工夫したらよく走るか、真剣に取り組んでいました。説明するのが難しい子どもたちとどんな話をしたらいいのかなど、いろいろと考えることがあったようです。



「はしってんカー」を、初めて子どもたちに作ってもらいました。材料や説明のしかたなど、まだまだ改良するところはあるようです。でも、どうしたら走り出すか、あるいはもっと走るか、など子どもたちに考えてもらうことが大事です。みんな同じものができるのではなく、自分だけの、自分が工夫したものができるところがねらいです。「どうしたらいいかな、こうしたらどうだろう」こんな会話が弾む商品にしたいです。



(担当：横山千尋・笠谷忠幸)